

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	0人	1人	13人

前回の改善計画	<p>【目標】 ・面談時に同席できる職員を増やすこと。（相談職の視点を持てるよう育成をする）</p> <p>【期間】 12か月</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・面談時に同席できる職員は1名増えたのみ。</p> <p>・ここ最近、事前情報が少ない新規利用者が増えてきた状況から、新規利用開始時には2-3名でチームを形成し、密に情報交換を行うようにしているが、そのチーム員となる職員は計4名程増えた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	9	1	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	10	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	8	0	1	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	9	0	1	13

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の方が慣れるための工夫検討、ご家族も含めご本人が安心できるような声かけは、ほぼ全職員が意識しており、丁寧に行っている。 ・情報の回覧や共有、ミーティング、職員会議での必要支援の確認が出来ている。 ・ご利用者、家族のニーズを意識しながら支援することが出来ている。 ・面談時には、できるだけ現場職員も同席するようにしている。 ・新規ケースについて、早い段階から職員間で情報を共有。支援内容をイメージし、面談時に確認をしないといけないことを事前に確認した上で面談を実施している。また、面談後には、収集した情報を元に援助を組み立て。口頭で情報共有をすることが望ましいが、難しい場合にも備え、書面を作成し共有を図るようにしている。職員の勤務状況を確認しながら、確実に翌日に繋いでいくように意識している。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・変則勤務の加減で一同に会してミーティングは難しく職員の勤務状況にもより情報収集には差が出てしまう。 ・情報量が多く、特に休み明けには十分な把握が出来ずに支援に入る時がある。 ・事業の特性上もありご利用者の人となり、拘りなど手探りから始めることが多い。その為、家族や介護者が必要としている支援の把握にも時間がかかることがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】 ・面談時に同席できる職員、支援を組み立てることができる職員を増やす。</p> <p>【期間】 12か月</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	11人	1人	0人	13人

前回の改善計画	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の「～したい」の実現を増やす。聞き取った思いから一人でもご利用者の生活に対してのゴールや目標を計画書に反映させ自己実現が出来る。 <p>【期間】 12か月</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 「轍（自分史回想ノート）」の聞き取り、ご利用者の「～したい」を引き出すことの難しさを感じながらも、ご利用者の生活歴や思いを知ろうとする意識は持つことができている。 日々の小さな「～したい」をこつこつと実現するようにしている。 ご家族からは「こんなことができるとは知らなかった」「家ではなかなかできないことをさせてもらえて有難い」とのお声を頂くことがある。 ご利用者の「～したい」ことを計画書に反映しているものの、各自が計画書を読み込む機会は持っていない。「本人の目標（ゴール）」を口頭で共有しているのが現状。計画書を元に支援を行うことが優先となり、目標意識が低くなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	8	4	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	11	2	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	9	4	0	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	6	5	1	13

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 一定のご利用者へは日々の小さな「～したい」が実現できている。 （例：近隣のお寺に散歩に行く、買物に行く、ドライブをする、体操がしたい、等） 「こういうことが好き、得意」ということから「～したい」の理解に繋げている。 （例：生け花や書道教室の開催、お裁縫、等）
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングにおいては課題があがりやすいが、実践の評価、共有ができていない。 ご自身で「～したい」を発信できる方が少なく本当の意味での思いを知ることが難しい。 ご本人の「～したい」の発信が難しい方への対応が後回しになってしまうことがある。 安定して長期間ご利用されている方に対しては、かえって丁寧な気づきが出来ていないように感じる。職員の思い込みから新しいことへのチャレンジが少ないかもしれない。 時間、気持ちに余裕がないと意識が薄れてしまっていることがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の「～したい」の実現を増やす。聞き取った思いから一人でもご利用者の生活に対してのゴールや目標を計画書に反映させ自己実現が出来る。その実現に向けて主体的に動くことができる職員を増やす。 <p>【期間】 12か月</p>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月 3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月 6日（土）14：00～15：00
-----	--

3. 日常生活の支援

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	12人	0人	0人	13人

前回の改善計画	
【目標】 ・引き続き「自分史回想ノート【轍】」を活用しご本人の暮らし方や思いを知る。知り得た情報が日々の支援に活かせる。	
【計画】12か月	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は利用者ごとに担当職員を決め、定期的に変更。「自分史回想ノート【轍】」を活用し、聞き取る職員を変えることで新たな気付きに繋がらないか実践中。 ・業務優先となり、聞き取りが後回しになりがちだが、「自分史回想ノート【轍】」というツールがあることで、全職員が取り組むことができた。 ・聞き取った内容を実践に活かせるかは職員の力量差があるが、声に出すことは全職員が出来ている。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	3	9	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	8	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	8	3	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	9	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	9	0	0	13

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・最近のご利用者の傾向として、身体介護ではなく、生活支援が必要なご利用者が多い。その為、電子レンジで温める、洗濯を自分で回してもらうよう働きかけたり、ゴミ出しや食事の準備等も安易に支援に入るのではなく、できることはやってみてもらった上で足りない部分に支援に入るようにしている。 ・本人の状態に合わせた支援方法を日々のミーティングで検討し実施できている。 ・本人の声にならない声を感じとることには職員の力量差は大きいですが、職員が感じた些細な違和感、気付きは共有するようになっている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者より家族の意向が優先される場合がある ・見えにくい変化や強み、ニーズにはたどり着きにくい状況がある。 ・利用者一人一人の情報量が多く把握しきれない場面もある ・職員が感じた些細な違和感、気付きを口頭では共有するものの、記録に残せていないことがある。

次回までの具体的な改善計画
【目標】 ・引き続き「自分史回想ノート【轍】」を活用しつつ、ライフサポートプラン（わたしの暮らしまとめシート）を取り入れ、ご本人の暮らし方や思いを知る。知り得た情報が日々の支援に活かせる。
【計画】12か月

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	7人	2人	1人	13人

前回の改善計画	
【目標】	・個別ケースを通して地域資源の把握に努め、日々の生活や支援に繋がられる
【計画】	12ヵ月
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者個々の地域資源には意識が向くようになり、実際の支援に活かすことが出来た場面があった。 ・利用者と地域とのつながりが継続できるような支援をしていきたいと考えるが、ご家族としては無償で近隣住民に対応してもらうことへの申し訳なさがあり、事業所をお願いしたいとの希望を伺うこともあり、対応に悩むこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3	5	5	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	7	2	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	4	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	6	3	3	13

できている点	・地域とのつながりが密な利用者に対しては十分な対応をする機会がある。 ・事業所として地域や各機関との繋がりが持っている。 ・自宅での過ごし方は家族を通して知ることが出来ている。また、どのように過ごしているか知る為に、訪問回数を増やしたり、時間を変更して訪問することもしている。
--------	--

できていない点	・地域でのつながりが見えない、見えにくい方もいる。 ・地域との関わりが強く、職員が把握しきれないご利用者もいる。 ・通い、宿泊利用が増え、自宅・地域での暮らしが薄れてしまうご利用者もあった。 ・全職員が地域資源に対して意識が持っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	
【目標】	・個別ケースを通して地域資源の把握に努め、日々の生活や支援に繋がられる（継続）
【計画】	12ヵ月

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	10人	2人	0人	13人

前回の改善計画
【目標】 ・事業所だけで支援を完結しない。特にお一人暮らし、高齢世帯の方へは訪問での支援を中心に今までの繋がりや暮らしが維持できるよう支援計画を作成する（継続）
【計画】 12か月
前回の改善計画に対する取組み結果
・ひと月の訪問回数は年々増加傾向。安易に通い、宿泊利用を提案せず訪問支援を行いながら自宅や地域で暮らすことが出来るかを考え支援が出来ている。 ・反面、その場の状況判断が必要であったりと、複雑な訪問支援が増えつつあり、職員の力量を上げること。情報共有の場の必要性を実感している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	6	3	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	8	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	3	10	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	9	0	0	13

できている点
・介護保険サービス、民間サービス、医療等、形のある部門と連携は良く図れている。 ・これまで事業所の持ち帰り弁当を利用していたが、ご利用者のニーズに合わせ、民間の配食弁当に切り替えるケースがあった。 ・特に②④については即時対応が出来ている。

できていない点
・近隣住民や今までの繋がりといった非制度的な部分は一部に限られている。 ・地域資源はもっと活用できると思う。 ・夕方から夜間にかけての訪問ニーズには体制上、答えられていない。 ・ミーティングの時間帯に職員が集まりにくい為、ミーティングの開催方法の見直しが必要。

次回までの具体的な改善計画
【目標】 ・事業所だけで支援を完結しない。特にお一人暮らし、高齢世帯の方へは訪問での支援を中心に今までの繋がりや暮らしが維持できるよう支援計画を作成する（継続）
【計画】 12か月

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

6. 連携・協働

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	2人	3人	13人

前回の改善計画
【目標】 ・今年度以上に地域活動や交流に参加する機会を増やす ・ボランティアの受け入れ再開について検討を具体的に開始する。
【期間】 12か月
前回の改善計画に対する取組み結果
・今年度の子ども祭りでは、職員がコマ作りのブースを開催。一部のご利用者とは、コマを作成する子供たちと一緒に過ごすことができた。 ・ボランティアの受け入れ再開について、個人向けに、ボランティア募集のチラシを施設玄関に貼り出してみたが、現状希望者はない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	7	1	3	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	6	3	3	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	6	2	2	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	7	2	3	13

できている点
・地域ケア会議や研修、サービス機関との会議等には積極的に参加が出来る。 ・まつお福祉ふれあい祭りに作品展示が出来た。 ・井戸パークにて近隣住民との日常的な交流はある。畑の花壇、メダカは話題のひとつにもなっている。

できていない点
・参加する職員が一部にとどまっている。 ・ボランティアの受け入れまでには至らなかった。

次回までの具体的な改善計画
【目標】 ・今年度以上に地域活動や交流に参加する機会を増やす。（継続） ・ボランティアの受け入れ再開に向けて行動を開始する。
【期間】 12か月

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

7. 運営

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	4人	2人	13人

前回の改善計画	
【目標】	・地域の方から意見を頂ける方法の検討を行う（継続） ・家族会開催（再開）に向けての検討を開始する。
【期間】	12か月
前回の改善計画に対する取組み結果	・目標としていた地域の方から意見を頂ける具体的な方法の検討は行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2	8	3	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	9	1	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	7	2	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	5	6	1	13

できている点	・運営推進会議での報告や相談はできている ・自分が思う事や感じたことは発言できている ・ご利用者や家族、地域の方からの意見や苦情は速やかに反映し共有できている。
--------	--

できていない点	・会議以外で地域との連携が密とは言えない。 ・家族会の開催ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	
【目標】	・地域の方から意見を頂ける方法の検討を行う。（継続） ・家族会開催（再開）に向けての検討を開始する。（継続）
【期間】	12か月

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

8. 質を向上するための取組み

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	4人	0人	13人

前回の改善計画
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防推進センターからも指導を仰ぎ、介護予防について学ぶ機会（研修や活動の見学）を持つ（継続） <p>【期間】12か月</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 「介護予防」を重点とした研修、学習の機会は持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	11	0	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	3	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	0	7	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	9	2	0	13

できている点
<ul style="list-style-type: none"> 研修や連絡会、リスクマネジメントに取り組む仕組みはあり実施できている。 外部研修には可能な限り目的や目標を持ち参加出来ていた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> 介護予防の視点から研修や学習の機会は持てなかった。 連絡会などの参加は一部の職員に限られており参加の機会がない職員が多い。

次回までの具体的な改善計画
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防推進センターからも指導を仰ぎ、介護予防について学ぶ機会（研修や活動の見学）を持つ（継続） <p>【期間】12か月</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和7年12月3日（水）14：00～15：00 2回目：令和7年12月6日（土）14：00～15：00
-----	--

9. 人権・プライバシー

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 吉田 高坂 平田 木村 2回目：松浦 横山 大東 野澤 池田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	1人	1人	13人

前回の改善計画
【目標】 ・「個人情報の管理」について現状の課題を整理し具体的に改善策を検討する（継続）
【期間】 12か月
前回の改善計画に対する取組み結果
・安全管理会議は2か月に1回開催をし、身体拘束、虐待、プライバシー、個人情報保護について確認する場が持っている。 ・「個人情報の管理」について具体的な改善策を検討するまでに至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	6	0	0	13
②	虐待は行われていない	9	4	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	10	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	9	1	1	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	11	0	0	13

できている点
・人権やプライバシーについて、基本的な考えは浸透している。 ・会議にて①～⑤について定期的な確認を行っている。

できていない点
・個人情報の取り扱いについて部署独自での取り組みはできなかった。 ・成年後見制度に理解のある職員が少ない。 ・職員間での情報共有の場面でプライバシー、個人情報に配慮出来ていない場面がある。（例：パソコンを開いたまま、メモや書類が見える位置に置いたまま、話し声が大きい、等） ・会議や研修の場では理解を示していても、実際の対応時に手すりの置き方、ベッドの位置が身体拘束に繋がりがねないと考える職員もいるような状況があった。

次回までの具体的な改善計画
【目標】 ・「個人情報の管理」について現状の課題を整理し具体的に改善策を検討する（継続）
【期間】 12か月